

ネットワーク長野県史料協

「長野市公文書館 移転リニューアルし開館しました」

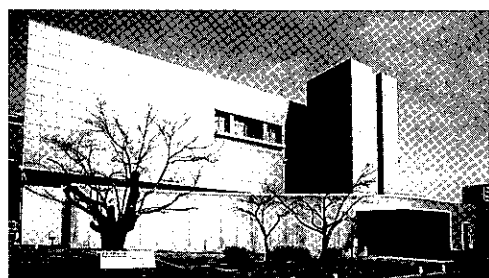
長野市公文書館 館長 北澤 元一

長野市公文書館は、長野市城山分室から旧フルネットセンターをリニューアルした長野市若里分室内に移転し、令和元年11月20日に開館しました。

公文書館の設置経過をみますと、長野市が市制100周年記念事業で『長野市誌』を刊行し、その編さん過程で収集した貴重な史資料を活用していく方法を検討し、市制110周年記念事業として公文書館を設置することになりました。平成19年11月に長野市箱清水1丁目の城山分室内（旧NHK長野放送局）に、公文書館を開館しました。

この度、城山分室が老朽化等のため閉鎖することにもない、長野市若里の長野市保健所南隣で交通の利便等が良い、旧フルネットセンターを改修した長野市若里分室に移転しました。

移転にあたっては、「開かれた魅力ある公文書館」をコンセプトに、明るく開放的な閲覧室をつくり、歴史的に重要な公文書等の集中管理と保存・活用ができるようにしました。



若里分室全景

新しくなった長野市公文書館をご紹介します。若里分室は鉄骨造り3階建て延面積1,974㎡で、公文書館ほか2団体が入所しております。

公文書館の利用面積は、計876.52㎡になります。内訳は、事務室77.06㎡、閲覧室68.82㎡、作業室55.41㎡、1・2・3階にある書庫・倉庫の合計は675.23㎡となります。以前より閲覧室は約6割広くなり、各階にある書庫等は、書架を目いっぱい設置し収蔵量を以前より多く確保しました。

閲覧室は、1階で南側がガラス張りの明るく開放的な部屋となっており、4,000点余の書籍等を自由に閲覧できるようになっています。

所蔵している史資料は、公文書としては毎年

保存年限が過ぎ廃棄される市役所公文書の中から選別した歴史的に重要な公文書や合併した旧市町村役場の公文書があります。古文書としては市内の商家や庄屋・名主等村役人の文書、複製資料としては松代藩真田家文書、松代八田家文書など、そのほか地図・絵図、写真、航空写真、旧和紙公図などを収蔵しております。平成31年3月31日現在で整理済み史資料が149,831点になります。

事業としては、講師を招いての講演会開催や公民館での古文書講座や市内高校等への出前講座などを行っております。

そのほか研究紀要として、市民等から寄稿された論文や研究ノートを中心に編集した『市誌研究ながの』を年1回発行、活動内容等を紹介する「長野市公文書館便り」も年4回発行しております。

また、当公文書館は、地域や個人宅に残されてきた古文書等が、住宅の建替えや建物の老朽化等様々な理由で保存できなくなり、処分されてしまうのを防ぐため、市民・地区から寄贈・寄託により史資料等を積極的に受け入れ、整理・保存・公開をしております。

長野市は、昭和の大合併や平成の大合併を経て大きく変わってきました。これからも時代とともに変化しながら、未来へ市政の歩みは続きます。

長野市公文書館は、取り組みの大きな柱の一つとして、行政が歩んできた道をきちんと残していくために、市の諸事業達成の過程で作成され、保存年限が過ぎ廃棄される膨大な公文書の中から、歴史的に重要な公文書を選別収集し、整理・保存・公開することで、現在及び将来の市民に説明する責務を果たしていければと考えております。



閲覧室

次代に残す・災害へ備える 写真で将来につなげる 【第3回文献史料保存活用講習会】 「古文書の効果的な撮影方法」受講記

令和2年2月20日と21日の両日、県立歴史館において、第3回文献史料保存活用講習会を行いました。テーマを「古文書の効果的な撮影方法」とし、東京大学史料編纂所職員3名を講師にお招きし、同所のデジタル化技術を知る貴重な機会となりました。特にデジタル画像の保存形式として一般的なJPEGは、再保存により劣化すること。それに対しRAWは劣化せず、撮影時の露出ミス等の修正も可能であること。「次代に残す・災害へ備える」手段として、写真で将来につなげる。それは必要不可欠なことなのだというのを改めて認識することになりました。

受講された資料館・博物館職員の方から寄稿して頂いた感想を以下に掲載します。

軽井沢町歴史民俗資料館 学芸員 山田あづさ

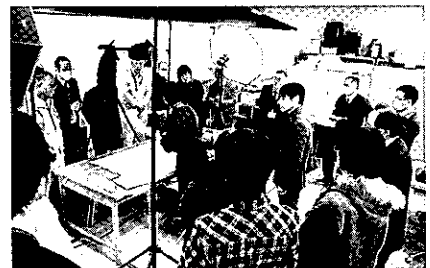
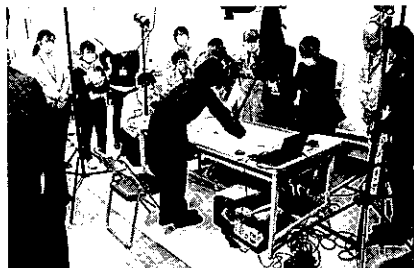
今回は東京大学史料編纂所の職員の方々が講師であったため、編纂所の取組など大変興味深く拝聴しました。史料撮影に関してあまり知識がない状態からの参加でしたので、正直に言うところ説明についていくのがやっとでした。しかしながら、大変印象に残ったのは谷先生のご報告にあった「将来のために情報を残す」「次世代まで引き継ぐことを目指す」とのお言葉でした。自分自身を振り返ると、撮影時には、活用することも考えてなるべく綺麗に撮影したい、という気持ちはもちろんありますが、将来への影響を考えたことはなかったと思います。我々が撮影したデータが、次世代に引き継がれ使用さ

れることを前提として、後々の判断の助けとなるよう撮影を行う、スマートフォンを使用する場合にもメジャーやチャートを置くことによって次に使用する時に役立てられる、との説明を聞き、非常に勉強になりました。今後の史料撮影やデータの活用につなげたいと思います。

伊那市立高遠町歴史博物館

主任（学芸員）福澤浩之

災害によっていつ消滅してもおかしくない紙媒体の史料を、どのように記録すべきかを考えさせられる研修でした。谷先生の講義では撮影時のメタ情報の重要性を学び、いつ、どこで、何を撮影したものが明確にわかるように気を使って撮影することの重要性を再認識しました。高山先生の講義と実技ではデジタルカメラの特性と撮影時の工夫について詳しく教えていただきました。RAWデータの重要性も井上先生が自らの失敗を活かしながら分かりやすく補足してくださり、自分が好ましくない撮影をしてきたことがよく分かりました。笹本館長が「ガラスの板を置いたら紙や筆の蹟の質感がなくなってしまう」と指摘されましたが、様々な分野の専門家が見ることを想定することの重要性を私たちに気づかせてくださったように思えます。「その画像、誰が使うことを想定しているの？」を常に念頭に置いて実践していきたいと思います。有意義な時間を過ごさせていただき、誠にありがとうございました。



長野県史料保存活用連絡協議会の活動報告 (思い出のアルバム)

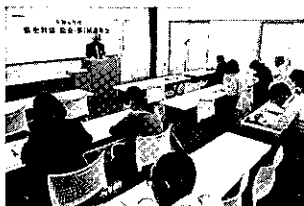
☆令和元年6月20日(木) 理事会・総会 会場：松本市文書館

第1回文献史料保存活用講習会(1階講義室)……………参加者38名

テーマ：文書館設立と地域の動き—地域文書の現状と課題—

講演：小松芳郎 特別専門員(松本市文書館)

視察：松本市文書館施設(公文書室・地域文書室・写真資料室等)の説明

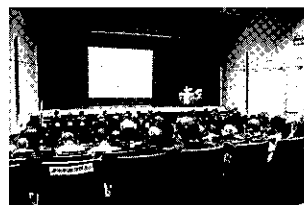
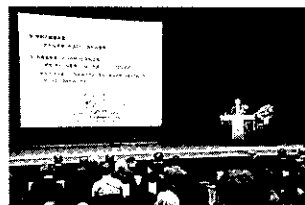
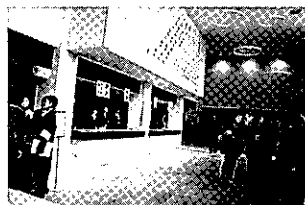
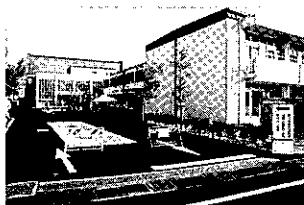


☆令和元年11月14日(木)・15日(金) 現地機関：安曇野市文書館

第2回文献史料保存活用講習会[全史料協全国(安曇野)大会]……………参加者62名

テーマ：「文書館をつくる—市町村が拓くアーカイブズ活動—」

概要：全国の文書館や歴史資料館等が参加する「全国歴史資料保存利用機関連絡協議会」(事務局・神奈川県高座郡寒川町の寒川文書館内)の全国大会が、県史料協との共催事業として安曇野市豊科公民館を会場に2日間の日程で開催された。県内開催は2001年以来で、地元の大学生ら一般からの参加があり、関心の高さが窺えた。



☆令和2年2月20日(木)・21日(金) 講習会場：長野県立歴史館

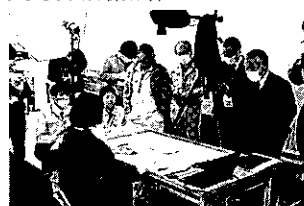
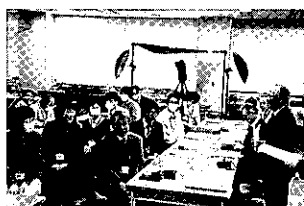
第3回文献史料保存活用講習会(1階遺物整理室)……………参加者35名

テーマ：「古文書の効果的な撮影方法」講習は両日とも同一内容(選択日講習)

内容：【前半】座学「文書を撮影する」カメラの種類と機能、画素数と解像度、データの管理方法、フィルムとデジタルの保管方法など

【後半】実習「機材の組み立て・史料撮影実習」機材セッティング・照度の設定・史料種別による撮影方法ほか

講師：井上聡 准教授・谷昭佳 技術専門員・高山さやか 技術専門員(東京大学史料編纂所)



県史料協会会員情報

◆長野市公文書館 令和2年6月18日(木)次年度の総会、講習会を開催致します

概要：【施設移転】開館準備完了 開館：令和元年11月20日(水)

移転先：長野市若里六丁目6番2号 長野市若里分室内(旧フルネットセンター) 電話026-224-0701

開館時間：午前9時～午後5時(休館日：土曜日・祝休日、年末年始)

◆上田市公文書館 令和元年9月に新規入会手続きを経て機関会員の仲間入りしました

概要：【新設開館】開館：令和元年9月1日(日)

所在地：上田市東内2564-1(丸子郷土博物館に併設) 電話0268-75-6682

開館時間：午前9時～午後5時(休館日：月曜日・祝日の翌日、年末年始)

長野県史料保存活用連絡協議会 機関会員名簿（五十音順）

令和2年3月末現在

個人会員は除く

	会員名	郵便番号	会員住所	電話番号	FAX
1	安曇野市文書館	399-8211	安曇野市堀金烏川2753番地 1	0263-71-5123	0263-71-5127
2	阿南町教育委員会	399-1502	下伊那郡阿南町東條58-1	0260-22-2270	0260-22-2287
3	飯島町教育委員会	399-3702	上伊那郡飯島町飯島2529	0265-86-3111	0265-86-5596
4	飯田市歴史研究所	395-0803	飯田市鼎下山538	0265-53-4670	0265-21-1173
5	飯綱町教育委員会生涯学習係	389-1293	上水内郡飯綱町大字牟礼2795-1	026-253-6646	026-253-6649
6	伊那市教育委員会	396-0292	伊那市高遠町西高遠1806(高遠教育振興係内)	0265-94-2557	0265-94-3697
7	上田市公文書館	386-0413	上田市東内2564-1	0268-75-6682	0268-75-6683
8	上田市立上田図書館	386-0014	上田市材木町1-2-47	0268-22-0880	0268-28-1118
9	大町市教育委員会	398-8601	大町市大町4700 大町市文化財センター	0261-23-4760	0261-23-4773
10	小布施町文書館	381-0297	上高井郡小布施町小布施1491-2	026-214-9114	026-247-3113
11	軽井沢町追分宿郷土館	389-0115	北佐久郡軽井沢町追分1155-8	0267-45-1466	0267-45-1466
12	坂城町教育委員会文化財センター	389-0601	埴科郡坂城町坂城6362-1	0268-82-1109	0268-82-1112
13	佐久市教育委員会 文化振興課	385-0051	佐久市中込2913	0267-63-5321	0267-63-5322
14	信濃町教育委員会	389-1305	上水内郡信濃町柏原428	026-255-5923	026-255-6103
15	須坂市文書館	382-0013	須坂市大字須坂812番地2(旧上高井郡役所内)	026-285-9041	026-285-9175
16	諏訪市博物館	392-0015	諏訪市中洲171番地 2	0266-52-7080	0266-52-6990
17	東御市教育委員会	389-0592	長野県東御市県281-2	0268-75-2717	0268-64-5878
18	辰野町教育委員会	399-0493	上伊那郡辰野町中央1番地	0266-41-1681	0266-41-3976
19	公益財団法人 田中本家博物館	380-0085	須坂市穀町476	026-248-8008	026-245-4780
20	千曲市教育委員会 歴史文化財センター	387-0012	千曲市桜堂268番地 1	026-261-3210	026-261-3211
21	茅野市八ヶ岳総合博物館	391-0213	茅野市豊平6983	0266-73-0300	0266-72-6119
22	中川村教育委員会	399-3802	上伊那郡中川村片桐4757	0265-88-1005	0265-88-4005
23	長野郷土史研究会	380-0905	長野市七瀬南部14-7	026-224-2629	026-224-2673
24	中野市教育委員会事務局生涯学習課	383-8614	中野市三好町1-3-19	0269-22-2111	0269-22-5901
25	長野市公文書館	380-0928	長野市若里六丁目6番2号(長野市若里分室内)	026-224-0701	026-224-0702
26	長和町教育委員会	386-0603	長和町古町4247-1	0268-68-2127	0268-68-3114
27	南木曽町博物館	399-5302	木曽郡南木曽町吾妻2190	0264-57-3322	0264-57-4114
28	公益財団法人 八十二文化財団	380-0936	長野市岡田178-13	026-224-0511	026-224-6452
29	松代文化施設等管理事務所	381-1231	長野市松代町松代4-1真田宝物館	026-278-2801	026-278-2847
30	松本市文書館	390-0837	長野県松本市鎌田2-8-25	0263-28-5570	0263-24-2110
31	南箕輪村教育委員会	399-4592	上伊那郡南箕輪村4840-1	0265-76-7007	0265-76-5568
32	箕輪町郷土博物館	399-4601	上伊那郡箕輪町中箕輪10286-3	0265-79-4860	0265-79-4860
33	宮田村教育委員会	399-4301	上伊那郡宮田村7021	0265-85-2314	0265-85-5583
34	(有) 山本マイクロシステムセンター	381-2221	長野市川中島町御厨1963-5	026-283-5353	026-283-5354
35	長野県立歴史館	387-0007	千曲市屋代清水260-6	026-274-2000	026-274-3996

事務局より

長野県史料保存活用連絡協議会（略称：県史料協）は、県及び県内の市町村が保管している公文書等及び地域に伝存する古文書・記録類を歴史資料として保存活用することに関して、会員相互の連絡と提携を図り、地域文化の振興に寄与することを目的として平成12年（2000年）に設立されました。以来、史資料の保存活用に関する講習会、調査研究及び情報の交換等を行っています。今年は、長野県立歴史館が事務局を担当して20年目の節目の年となります。

なお、令和2年度の総会・講習会は、6月18日（木）に長野市公文書館を会場に開催致します。

県史料協事務局：長野県立歴史館 文献史料課 〒387-0007 長野県千曲市屋代260-6

電話 026-274-3993 FAX 026-274-3996 E-mail rekishikan-bunken@pref.nagano.lg.jp